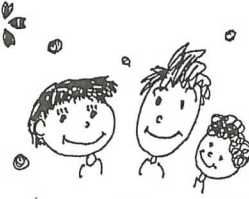


# よりそう



第23号

編集責任：水野

(5/22(日)の宿泊：140人、活動：24人)

編集担当者 今野・筒井・星野・吉田



## この空の下 ~復興への祈りで込めて~

時計の針が止まっている  
 あの日の記憶、とどめるように  
 失ったものの、その大きさに  
 立ち尽くし、風が舞う  
 いのちの象に、閉じ込めた痛みを  
 とりのぞくことはできないけれど  
 今の自分の、この想いを  
 精いっぱい伝えたい

\* 同じ北のふるさとに  
 生きてきた俺たちが、ここにいる  
 一人じゃない、つながっている、信じている  
 この空の下

おと昔の話じゃない  
 どこか遠くの話でもない  
 多くの命、眠るふるさとに  
 風が吹き抜ける  
 今はとても苦しいけれど  
 とても辛くない  
 それでも今も生きているあなたへ  
 この歌を、とどけたい

愛し北のふるさとを  
 想い続ける仲間が、ここにいる  
 一人じゃない、つながっている、信じている  
 この空の下

\* くりかえし  
 同じ空の下

5/2(月) 天気 晴れ

5/2(月) 天気 晴れ

降水確率 0%

## 心の繋がりを歌う

千葉 和(Chiba Nagomi)

3月下旬から、いろいろな被災地をまわってきた 千葉 和さんが、チャリティーCDのレコーディングにいらっしました。この歌は被災地で出逢ったたくさんの方のそれぞれのいのちの奥にある、それぞれの物語がある事を知り、感じる中で産まれた曲です。生きてることに罪悪感を持つ人もいた。代わってあげることはできないけれど、ヒリヒリしない、たくさんの方が繋がっている。そのことを音楽で、たくさんの方の被災者、ボランティア、日本中の、世界中の人に伝えたいと思った。そしてできるだけ多くの人と一緒に歌いたいと思った。この歌の花が咲くところまで、伝え届けていきたい。と話してくれました。たくさんの方の心が咲いてくれることでしょう。

## 帰りたくない症候群

ボランティア活動が楽しく、活動すればする程に責任感ゆえにハマってしまう人がいる。当初は一週間の予定で参加したのだが居心地が良く予定を変更し延長する。社会貢献でき自分を必要としてくれる。これこそ私が人生だと思いつき本来の学業や職業を忘れてしまう症状に陥っていませんか？もしあなたの近くで「帰りたくない症候群」の人を見かけたら声をかけてあげよう。

ボランティアの反省から

## 思いもせぬことが起こる“現場”

### ★見えぬ危険

- 泥に手を突いたら割れた蛍光灯が……
- ➡現場によっては手袋や軍手を二重に!
- ガレキを運ぶ最中に転んで手首を骨折。
- 足もとばかり草が生えた田のあぜで……
- ➡泥をかぶっている場所でも注意!
- ➡足場を確かめてから作業!
- ➡手もとばかりに気を取らぬ!

お知らせ  
 ○夜は10時消灯。ビニールがカサカサも、片隅のヒリヒリも、けっさ響くんです。  
 ○ゴミ出しも同じ仲間の仕事。それは捨てておいてゴミですか？  
 ○活動先でどうふるまっていますか？「ボランティアに来た意味をもう一度考えよう」

5/23(月)ボランティアミーティングはPM5:30~@体育館